



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 15 日

上場会社名 ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 8729 URL <http://www.sonyfh.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 徳 中 暉 久
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 此 尾 昌 晃 TEL (03) 5785 - 1074

(注) 第 3 四半期財務情報については平成 19 年 3 月期第 3 四半期分より開示しておりますので、平成 19 年 3 月期第 3 四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	606,192	10.0	37,803	43.9	22,740	41.0
19年3月期第3四半期	550,999	—	26,263	—	16,133	—
19年3月期	759,280	—	18,354	—	10,021	—

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	10,713	48	—	—
19年3月期第3四半期	7,682	75	—	—
19年3月期	4,772	09	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第3四半期	4,874,250	300,442	6.1	136,018	04
19年3月期第3四半期	4,174,701	265,138	6.2	124,197	75
19年3月期	4,323,780	270,179	6.1	126,549	38

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	292,052	△380,073	22,300	208,016
19年3月期第3四半期	167,223	△61,529	△6,500	208,506
19年3月期	258,171	△87,215	△6,500	273,760

2. 配当の状況

平成20年3月期第3四半期末を基準日とする剰余金の配当を行っておりませんので、当該項目の記載を省略しております。

3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	815,000	7.3	41,000	123.4	24,000	139.5	11,237	77

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無

(注) 詳細は、12ページ【定性的情報・財務諸表等】5.その他 をご覧ください。

※ 実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

1. 経営成績に関する分析

当四半期（9ヶ月累計）（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日）の**経常収益**は、生命保険事業、損害保険事業、銀行事業のすべての事業で増加し、前年同期比 10.0%増の 6,061 億円となりました。

生命保険事業では、保有契約高の堅調な推移により保険料等収入が増加したこと、ならびに一般勘定の資産運用収益が増加したことから、経常収益は前年同期比 9.6%増の 5,471 億円となりました。損害保険事業では、自動車保険を中心に契約件数が順調に増加したことにより、正味収入保険料が増加し、経常収益は 8.9%増の 416 億円となりました。銀行事業では、業容の拡大にともない貸出金利息など資金運用収益が増加したため、経常収益は 25.7%増の 181 億円となりました。

経常費用は、すべての事業で増加し、前年同期比 8.3%増の 5,683 億円となりました。

生命保険事業では、解約返戻金を含む保険金等支払金が増加、また特別勘定資産運用損をはじめとする資産運用費用が増加したため、経常費用は 8.2%増の 5,143 億円となりました。損害保険事業では、保有契約件数の増加にともない正味支払保険金が増加したため、経常費用は 6.0%増の 386 億円となりました。銀行事業では、資金調達費用の増加により、経常費用は 19.9%増の 162 億円となりました。

上記の結果、**経常利益**はすべての事業で増加し、前年同期比 43.9%増の 378 億円となりました。内訳は生命保険事業が 39.2%増の 327 億円、損害保険事業が 66.7%増の 30 億円、銀行事業が 118.0%増の 18 億円となりました。

特別損益は、主に生命保険事業における価格変動準備金の繰入により、20 億円の特別損失を計上しました。

四半期純利益は、上記経常利益の増加が一部特別損失で相殺され、前年同期比 41.0%増の 227 億円となりました。

【事業別セグメント情報】

経常収益

(単位：百万円)

	平成19年3月期第3四半期 (平成18年4月1日～ 平成18年12月31日)	平成20年3月期第3四半期 (平成19年4月1日～ 平成19年12月31日)	増減率(%)
生命保険事業	499,116	547,123	+9.6
損害保険事業	38,254	41,668	+8.9
銀行事業	14,419	18,123	+25.7
小計	551,790	606,915	+10.0
全社または消去	△791	△722	—
連結	550,999	606,192	+10.0

経常利益

(単位：百万円)

	平成19年3月期第3四半期 (平成18年4月1日～ 平成18年12月31日)	平成20年3月期第3四半期 (平成19年4月1日～ 平成19年12月31日)	増減率(%)
生命保険事業	23,543	32,765	+39.2
損害保険事業	1,816	3,028	+66.7
銀行事業	854	1,861	+118.0
小計	26,214	37,656	+43.6
全社または消去	48	147	+201.9
連結	26,263	37,803	+43.9

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当四半期末、平成19年12月末時点の総資産は、前年同期末比16.8%増、前年度末比12.7%増の4兆8,742億円となりました。

主な増加要因は、公社債を中心とする有価証券が前年同期末比10.5%増の2兆9,125億円、金銭の信託が同18.1%増の8,241億円、貸付金(又は貸出金)が同23.1%増の4,365億円、コールローン及び買

入手形が同52.2%増の3,815億円です。

負債の部合計は、前年同期末比17.0%増、前年度末比12.8%増の4兆5,738億円となりました。その大部分を占める保険契約準備金は前年同期末比11.6%増の3兆4,006億円となりました。また、預金は前年同期末比36.5%増の9,796億円となりました。

純資産の部合計は、前年同期末比13.3%増、前年度末比11.2%増の3,004億円となりました。純資産の部のうち、その他有価証券評価差額金は市場環境の悪化により、前年同期末比36億円減の1,103億円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当四半期(9ヶ月累計)の**営業活動によるキャッシュ・フロー**は、主に、保険契約準備金の増加および預金の純増による収入が、コールローン等の純増による支出を上回り、2,920億円の資金収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に、有価証券の取得による支出が、有価証券の売却・償還による収入を上回り、3,800億円の資金支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、平成19年10月の東京証券取引所上場に伴う株式の発行による収入288億円から配当金の支払額65億円を差し引き、223億円の資金収入となりました。

以上の結果、平成19年12月末の現金及び現金同等物の残高は、平成19年3月末から657億円減少の2,080億円となりました。

(3) 自己資本比率の状況

	平成19年3月期 第3四半期	平成20年3月期 第3四半期
自己資本比率	6.2%	6.1%

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産 x 100

3. 重要な子会社に関する情報

以下では、当社の重要な子会社である、ソニー生命保険株式会社(以下「ソニー生命」)、ソニー損害保険株式会社(以下「ソニー損保」)およびソニー銀行株式会社(以下「ソニー銀行」)の平成20年3月期第3四半期(9ヶ月累計)(平成19年4月1日～平成19年12月31日)の業績についてご説明します。なお、本日ソニー生命は「平成19年度第3四半期(9ヶ月間通算)業績のご報告」を、ソニー損保は「平成20年3月期第3四半期(9ヶ月累計)の主要業績のお知らせ」を、ソニー銀行は「平成20年3月期第3四半期財務諸表の概要」(連結・単体)をそれぞれ発表しておりますので、各社ホームページもあわせてご参照ください。

■ソニー生命（単体）

ソニー生命単体の経常収益は、保有契約高の堅調な推移により保険料等収入が増加したこと、ならびに一般勘定の資産運用収益が増加したことにより、前年同期比9.6%増の5,469億円となりました。経常利益は39.6%増の328億円、四半期純利益（9ヶ月累計）は26.3%増の181億円となりました。なお、基礎利益は6.8%増の198億円となりました。

保険料等収入は、保有契約高の増加に伴い前年同期比8.3%増の4,797億円となりました。資産運用収益は19.7%増の637億円となる一方、資産運用費用は特別勘定に係る資産運用損等が増加したことにより405.6%増の219億円となりました。その結果、一般勘定と特別勘定の合計の資産運用損益は14.6%減の417億円となりました。保険金等支払金は13.0%増の1,794億円となりました。事業費は9.6%増の693億円となりました。

個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は堅調に推移し、前年同期末比4.1%増の31兆2,550億円となりました。解約・失効率は、前年同期比0.27ポイント上昇の4.61%となりました。保有契約年換算保険料は前年同期末比5.4%増の5,246億円（うち、第三分野は同5.3%増の1,220億円）となりました。

個人保険、個人年金保険を合計した新契約高は、死亡保障商品を中心とした販売が好調であったため、前年同期比10.4%増の2兆9,109億円となりました。また、新契約年換算保険料は1.8%減の483億円（うち、第三分野は5.7%減の103億円）となりました。

有価証券含み益は、前年同期末比3.7%減の1,753億円となりました。

(1) 主要収支項目等

(単位：百万円)

	平成19年3月期 第3四半期（9ヶ月累計）	平成20年3月期 第3四半期（9ヶ月累計）	増減率(%)・ 増減比(pt)
経常収益	498,871	546,989	+9.6
経常利益	23,522	32,844	+39.6
基礎利益	18,612	19,883	+6.8
四半期純利益	14,338	18,110	+26.3
保険料等収入	442,944	479,704	+8.3
資産運用収益	53,302	63,778	+19.7
保険金等支払金	158,744	179,440	+13.0
資産運用費用	4,347	21,982	+405.6
事業費	63,254	69,332	+9.6
解約・失効率(%) (注)	4.34	4.61	+0.27pt

(注) 解約・失効率は、復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

	平成 18 年 12 月 31 日現在	平成 19 年 12 月 31 日現在	平成 19 年 3 月 31 日現在
総資産	3,325,401	3,710,376	3,445,970
有価証券含み益	182,203	175,375	198,259

(2) 保有契約高金額ベース

(単位：億円)

区分	平成 18 年 12 月 31 日 現在	平成 19 年 12 月 31 日 現在	増減率(%)	平成 19 年 3 月 31 日 現在
個人保険	298,328	310,065	+3.9	300,381
個人年金保険	1,950	2,485	+27.5	2,063
合 計	300,278	312,550	+4.1	302,444

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

件数ベース

(単位：千件)

区分	平成 18 年 12 月 31 日 現在	平成 19 年 12 月 31 日 現在	増減率(%)	平成 19 年 3 月 31 日 現在
個人保険	4,042	4,331	+7.1	4,109
個人年金保険	33	43	+29.3	35
合 計	4,075	4,374	+7.3	4,145

(3) 新契約高金額ベース

(単位：億円)

区分	平成 19 年 3 月期 第 3 四半期 (9 ヶ月累計)	平成 20 年 3 月期 第 3 四半期 (9 ヶ月累計)	増減率(%)
個人保険	26,155	28,653	+9.5
個人年金保険	217	455	+109.5
合 計	26,373	29,109	+10.4

(注) 個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

件数ベース

(単位：千件)

区分	平成19年3月期 第3四半期(9ヶ月累計)	平成20年3月期 第3四半期(9ヶ月累計)	増減率(%)
個人保険	387	393	+1.3
個人年金保険	4	8	+92.5
合計	392	401	+2.3

(4) 年換算保険料

(保有契約)

(単位：百万円)

区分	平成18年12月31日 現在	平成19年12月31日 現在	増減率(%)	平成19年3月31日 現在
個人保険	490,829	516,188	+5.2	497,570
個人年金保険	6,808	8,504	+24.9	7,121
合計	497,637	524,692	+5.4	504,691
うち医療保障・生前給 付保障等	115,869	122,038	+5.3	117,466

(新契約)

(単位：百万円)

区分	平成19年3月期 第3四半期(9ヶ月累計)	平成20年3月期 第3四半期(9ヶ月累計)	増減率(%)
個人保険	48,364	46,593	△3.7
個人年金保険	902	1,768	+95.8
合計	49,267	48,362	△1.8
うち医療保障・生前給付保障等	10,931	10,313	△5.7

(注1) 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(ただし、一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

(注2) 医療保障・生前給付保障等には、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

■ **ソニー損保**

ソニー損保の経常収益は、主力の自動車保険の好調により正味収入保険料が増加し、前年同期比8.9%増の416億円となりました。経常利益は、経常収益の増加に加え、損害率、事業費率ともに改善したことから、66.7%増の30億円となりました。四半期純利益(9ヶ月累計)は89.7%増の25億円となりました。

保険引受の状況については、元受正味保険料は自動車保険の契約件数の増加等により前年同期比9.1%増の409億円、正味収入保険料は8.8%増の411億円となりました。正味支払保険金は契約件数の増加に伴い8.4%増の191億円となり、正味損害率は0.1ポイント改善の52.3%となりました。正味事業費率は、業務の効率化を進めたことにより0.4ポイント改善の25.1%となりました。この結果、保険引受利益は26億円となり、正味事業費率と正味損害率を合わせたコンバインド・レシオは0.5ポイント改善の77.4%となりました。

(1) 主要収支項目等

(単位：百万円)

	平成19年3月期 第3四半期(9ヶ月累計)	平成20年3月期 第3四半期(9ヶ月累計)	増減率(%)・ 増減比(pt)
経常収益	38,254	41,668	+8.9
経常利益	1,816	3,028	+66.7
四半期純利益	1,360	2,580	+89.7
正味損害率(%)	52.4	52.3	△0.1pt
正味事業費率(%)	25.5	25.1	△0.4pt
保険引受利益	1,442	2,619	+81.6

	平成18年12月31日現在	平成19年12月31日現在	平成19年3月31日現在
総資産	63,428	74,337	67,468

(2) 元受正味保険料

(単位：百万円)

種目	平成19年3月期 第3四半期(9ヶ月累計)	平成20年3月期 第3四半期(9ヶ月累計)	増減率(%)
火災	94	200	+112.4
海上	—	—	—
傷害	4,294	4,707	+9.6
自動車	33,135	36,012	+8.7
自賠償	—	—	—
合計	37,524	40,920	+9.1

(3) 正味収入保険料

(単位：百万円)

種目	平成19年3月期 第3四半期（9ヶ月累計）	平成20年3月期 第3四半期（9ヶ月累計）	増減率(%)
火災	7	11	+62.8
海上	35	38	+9.3
傷害	4,402	4,839	+9.9
自動車	32,985	35,855	+8.7
自賠責	401	432	+7.7
合計	37,831	41,177	+8.8

(4) 正味支払保険金

(単位：百万円)

種目	平成19年3月期 第3四半期（9ヶ月累計）	平成20年3月期 第3四半期（9ヶ月累計）	増減率(%)
火災	0	0	△20.5
海上	18	17	△3.8
傷害	693	897	+29.5
自動車	16,696	17,936	+7.4
自賠責	298	333	+11.9
合計	17,705	19,185	+8.4

■ ソニー銀行(単体)

ソニー銀行の経常収益は、住宅ローン残高の伸びによる貸出金利息の増加等により資金運用収益が増加し、前年同期比25.7%増の181億円となりました。経常利益は業務粗利益の増加により、143.6%増の20億円となりました。また四半期純利益（9ヶ月累計）は税効果会計による法人税等調整額の計上もあり大幅に増加し25億円となりました。

業務粗利益は、資金運用収支の増加等により、前年同期比18.8%増の79億円となりました。業務粗利益の内訳は、資金運用収支が業容の拡大に伴う運用資産残高の増加により20.6%増の38億円、役員取引等収支が投資信託残高の増加に伴う証券関連手数料収入の増加により78.4%増の3億円、その他業務収支が主に市場運用損益の改善により14.0%増の38億円となりました。

平成19年12月末の預り資産（預金と投資信託の合計）残高は特に円定期預金の増加が貢献し、前年度末比2,485億円（29.3%）増の1兆974億円となりました。預金残高は2,282億円（30.3%）増加し、9,806億円となりました。投資信託は203億円（21.1%）増加の1,168億円、貸出金残高も469億円（16.5%）増加の3,316億円と、順調に推移しております。

なお、平成19年12月末の口座数は前年同期末比8.5万件増、前年度末比6.5万件増の55.6万件とな

りました。また、平成19年12月末の自己資本比率（国内基準）は10.79%となりました。

(1) 主要収支項目等

（単位：百万円）

	平成19年3月期 第3四半期（9ヶ月累計）	平成20年3月期 第3四半期（9ヶ月累計）	増減率(%)
経常収益	14,419	18,127	+25.7
経常利益	854	2,080	+143.6
四半期純利益	432	2,546	+488.2
業務粗利益	6,717	7,983	+18.8
資金運用収支	3,195	3,855	+20.6
役務取引等収支	173	309	+78.4
その他業務収支	3,348	3,818	+14.0
営業経費	5,818	5,834	+0.3
業務純益	882	2,131	+141.5

	平成18年12月31日現在	平成19年12月31日現在	平成19年3月31日現在
総資産	782,620	1,058,195	806,848
自己資本比率 （国内基準）(%)	9.89	10.79	11.49

（注）平成19年3月31日および平成19年12月31日現在の自己資本比率は、それぞれ「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準を定める件」（平成18年金融庁告示第19号）所定の基準に基づき、算出しています。平成18年12月31日現在の自己資本比率は旧告示所定の基準により算出しております。

(2) 預り資産（預金と投資信託の合計）残高・口座数

（単位：億円）

	平成18年 12月31日現在	平成19年 12月31日現在	対前年同期末比 増減率(%)	平成19年 3月31日現在	対前年度末比 増減率(%)
預金	7,175	9,806	+36.7	7,523	+30.3
円預金	5,831	7,818	+34.1	6,044	+29.3
外貨預金	1,343	1,987	+47.9	1,478	+34.4
投資信託	898	1,168	+30.1	965	+21.1
預り資産残高合計	8,073	10,974	+35.9	8,488	+29.3
口座数（万件）	47.1	55.6	+18.1	49.1	+13.3

(3) 貸出金残高

(単位：億円)

	平成 18 年 12 月 31 日現在	平成 19 年 12 月 31 日現在	対前年同期末比 増減率 (%)	平成 19 年 3 月 31 日現在	対前年度末比 増減率 (%)
住宅ローン	2,546	3,239	+27.2	2,780	+16.5
その他	60	76	+27.0	66	+14.0
合計	2,607	3,316	+27.2	2,847	+16.5

4. 連結業績予想に関する定性的情報

当社の平成 20 年 3 月期の連結業績予想につきましては、平成 20 年 1 月 31 日に公表しました修正後の予想数値から変更はありません。

5. その他**(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）**

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

掲載した当第 3 四半期の連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書（以下「四半期連結財務諸表」という。）につきましては、中間連結財務諸表等の作成基準に準じて、投資家等利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で以下のとおり一部簡便な方法を採用しております。

(1) 貸倒引当金の計上基準

貸倒引当金については、一部、前年度に算定した貸倒実績率等に基づき計上しております。

(2) 法人税等の計上基準

国内の一部の連結子会社は、税金費用の算出にあたり加味する加減算項目や税額控除項目を、重要なものに限定しております。

(3) 繰延税金資産の計上基準

繰延税金資産の回収可能性の判断には、前年度に使用した将来の業績予測等を用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無

該当事項はありません。

四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円・%)

科 目	平成19年3月期第3四半期 (平成18年12月31日現在)	平成20年3月期第3四半期 (平成19年12月31日現在)	増減		平成19年3月期 (平成19年3月31日現在)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資 産 の 部)					
現金及び預貯金(又は現金預け金)	55,945	70,791	14,846	26.5	40,996
コールローン及び買入手形	250,609	381,537	130,928	52.2	332,459
買 入 金 銭 債 権	—	1,737	1,737	—	—
金 銭 の 信 託	698,062	824,130	126,067	18.1	718,492
有 価 証 券	2,635,712	2,912,522	276,809	10.5	2,649,768
貸付金(又は貸出金)	354,523	436,560	82,037	23.1	381,522
有 形 固 定 資 産	89,147	85,072	△ 4,074	△ 4.6	88,574
無 形 固 定 資 産	8,026	11,861	3,835	47.8	8,593
代 理 店 貸	—	—	—	—	0
再 保 険 貸	820	350	△ 469	△ 57.2	496
外 国 為 替	2,405	7,050	4,644	193.1	4,156
そ の 他 資 産	76,571	137,941	61,370	80.1	95,351
繰 延 税 金 資 産	3,126	5,007	1,881	60.2	3,599
貸 倒 引 当 金	△ 248	△ 314	△ 65	26.5	△ 230
資 産 の 部 合 計	4,174,701	4,874,250	699,548	16.8	4,323,780
(負 債 の 部)					
支 払 備 金	29,571	31,105	1,534	5.2	29,920
責 任 準 備 金	3,015,861	3,366,094	350,233	11.6	3,125,118
契 約 者 配 当 準 備 金	1,977	3,423	1,446	73.2	2,597
代 理 店 借	1,172	1,099	△ 73	△ 6.2	1,415
再 保 険 借	459	452	△ 7	△ 1.6	934
預 金	717,527	979,676	262,148	36.5	752,366
コールマネー及び売渡手形	18,000	26,500	8,500	47.2	10,000
外 国 為 替	6	8	2	33.5	0
そ の 他 負 債	65,755	117,791	52,036	79.1	75,367
賞 与 引 当 金	949	1,076	126	13.3	1,906
退 職 給 付 引 当 金	11,199	11,608	408	3.6	11,212
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	222	230	8	3.7	241
価 格 変 動 準 備 金	20,153	22,725	2,571	12.8	20,908
繰 延 税 金 負 債	25,999	11,307	△ 14,691	△ 56.5	20,904
再評価に係る繰延税金負債	706	706	—	—	706
負 債 の 部 合 計	3,909,563	4,573,807	664,244	17.0	4,053,601
(純 資 産 の 部)					
資 本 金	5,500	19,900	14,400	261.8	5,500
資 本 剰 余 金	180,877	195,277	14,400	8.0	180,877
利 益 剰 余 金	△ 38,060	△ 27,932	10,128	△ 26.6	△ 44,173
株 主 資 本 合 計	148,316	187,244	38,928	26.2	142,203
その他有価証券評価差額金	114,034	110,356	△ 3,677	△ 3.2	125,043
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 347	△ 856	△ 509	146.6	△ 408
土 地 再 評 価 差 額 金	△ 1,475	△ 1,475	—	—	△ 1,475
為 替 換 算 調 整 勘 定	287	570	282	98.2	390
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	112,499	108,594	△ 3,904	△ 3.5	123,549
少 数 株 主 持 分	4,323	4,603	279	6.5	4,425
純 資 産 の 部 合 計	265,138	300,442	35,303	13.3	270,179
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	4,174,701	4,874,250	699,548	16.8	4,323,780

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円・%)

科 目		平成 19 年 3 月期 第 3 四半期 (平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 12 月 31 日)	平成 20 年 3 月期 第 3 四半期 (平成 19 年 4 月 1 日～ 平成 19 年 12 月 31 日)	増減		平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 19 年 3 月 31 日)
		金額	金額	金額	増減率	金額
経 常 収 益		550,999	606,192	55,193	10.0	759,280
生 保 事 業	保 険 料 等 収 入	442,566	479,429	36,862	8.3	605,051
	資 産 運 用 収 益	53,496	63,871	10,374	19.4	78,928
	そ の 他 経 常 収 益	2,307	3,156	849	36.8	4,874
損 保 事 業	保 険 引 受 収 益	37,843	41,200	3,357	8.9	50,495
	資 産 運 用 収 益	357	431	73	20.6	464
	そ の 他 経 常 収 益	25	14	△ 11	△ 43.6	27
銀 行 事 業	資 金 運 用 収 益	9,266	12,127	2,861	30.9	12,763
	役 務 取 引 等 収 益	1,057	1,391	334	31.7	1,587
	そ の 他 業 務 収 益	4,074	4,558	484	11.9	5,065
	そ の 他 経 常 収 益	4	10	5	125.0	21
経 常 費 用		524,736	568,389	43,653	8.3	740,926
生 保 事 業	保 険 金 等 支 払 金	158,748	179,446	20,698	13.0	219,352
	責 任 準 備 金 等 繰 入 額	241,635	235,789	△ 5,846	△ 2.4	349,666
	資 産 運 用 費 用	4,399	21,982	17,582	399.6	8,231
	事 業 費	63,198	69,158	5,960	9.4	87,270
	そ の 他 経 常 費 用	7,468	7,809	341	4.6	10,300
損 保 事 業	保 険 引 受 費 用	27,188	28,674	1,486	5.5	36,166
	資 産 運 用 費 用	3	5	1	61.9	3
	営 業 費 及 び 一 般 管 理 費	8,976	9,639	663	7.4	12,392
	そ の 他 経 常 費 用	4	14	10	223.6	48
銀 行 事 業	資 金 調 達 費 用	6,070	8,265	2,194	36.2	8,174
	役 務 取 引 等 費 用	450	752	301	66.9	445
	そ の 他 業 務 費 用	725	740	15	2.1	1,149
	営 業 経 費	5,817	5,989	172	3.0	7,665
	そ の 他 経 常 費 用	50	120	70	139.6	58
経 常 利 益		26,263	37,803	11,540	43.9	18,354
特 別 利 益		340	2	△ 338	△ 99.4	334
特 別 損 失		380	2,001	1,621	426.7	1,146
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額		734	1,296	561	76.5	2,057
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益		25,489	34,507	9,018	35.4	15,485
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		12,677	14,334	1,656	13.1	20,270
法 人 税 等 調 整 額		△ 3,373	△ 2,846	526	△ 15.6	△ 14,929
少 数 株 主 利 益		51	279	227	437.6	123
四 半 期 (当 期) 純 利 益		16,133	22,740	6,607	41.0	10,021

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

平成19年3月期第3四半期 (平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
直前連結会計年度末残高	5,500	180,877	△47,694	138,682
四半期連結会計期間中の変動額				
剰余金の配当	—	—	△6,500	△6,500
四半期純利益	—	—	16,133	16,133
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額 (純額)	—	—	—	—
四半期連結会計期間中の変動額合計	—	—	9,633	9,633
四半期連結会計期間末残高	5,500	180,877	△38,060	148,316

	評価・換算差額等					少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
直前連結会計年度末残高	125,720	—	△1,475	113	124,358	4,165	267,206
四半期連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△6,500
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	16,133
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額 (純額)	△11,685	△347	—	173	△11,859	158	△11,701
四半期連結会計期間中の変動額合計	△11,685	△347	—	173	△11,859	158	△2,067
四半期連結会計期間末残高	114,034	△347	△1,475	287	112,499	4,323	265,138

平成20年3月期第3四半期 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
直前連結会計年度末残高	5,500	180,877	△44,173	142,203
四半期連結会計期間中の変動額				
増資による新株発行	14,400	14,400	—	28,800
剰余金の配当	—	—	△6,500	△6,500
四半期純利益	—	—	22,740	22,740
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額 (純額)	—	—	—	—
四半期連結会計期間中の変動額合計	14,400	14,400	16,240	45,040
四半期連結会計期間末残高	19,900	195,277	△27,932	187,244

	評価・換算差額等					少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
直前連結会計年度末残高	125,043	△408	△1,475	390	123,549	4,425	270,179
四半期連結会計期間中の変動額							
増資による新株発行	—	—	—	—	—	—	28,800
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△6,500
四半期純利益	—	—	—	—	—	—	22,740
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額 (純額)	△14,686	△448	—	180	△14,955	177	△14,777
四半期連結会計期間中の変動額合計	△14,686	△448	—	180	△14,955	177	30,263
四半期連結会計期間末残高	110,356	△856	△1,475	570	108,594	4,603	300,442

平成19年3月期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
直前連結会計年度末残高	5,500	180,877	△47,694	138,682
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当	—	—	△6,500	△6,500
当期純利益	—	—	10,021	10,021
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—
連結会計年度中の変動額合計	—	—	3,521	3,521
連結会計年度末残高	5,500	180,877	△44,173	142,203

	評価・換算差額等					少数株主 持分	純資産 合計
	その他有価 証券評価 差額金	繰延 ヘッジ 損益	土地再評 価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等 合計		
直前連結会計年度末残高	125,720	—	△1,475	113	124,358	4,165	267,206
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△6,500
当期純利益	—	—	—	—	—	—	10,021
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△676	△408	—	276	△808	259	△548
連結会計年度中の変動額合計	△676	△408	—	276	△808	259	2,972
連結会計年度末残高	125,043	△408	△1,475	390	123,549	4,425	270,179

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	平成19年3月期第3四半期 (平成18年4月1日～ 平成18年12月31日)	平成20年3月期第3四半期 (平成19年4月1日～ 平成19年12月31日)	平成19年3月期 (平成18年4月1日～ 平成19年3月31日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	25,489	34,507	15,485
減価償却費	3,142	4,085	4,683
減損損失	5	125	0
保険契約準備金の増加額	248,618	243,458	359,544
利息及び配当金等収入	△ 33,086	△ 47,749	△ 47,714
有価証券等関係損益(△)	△ 21,330	△ 2,999	△ 31,972
支払利息	6,074	8,276	8,182
貸出金の純増(△)減	△ 21,239	△ 46,908	△ 45,245
預金の純増減(△)	117,391	226,301	152,587
コールローン等の純増(△)減	△ 81,234	△ 144,278	△ 82,885
コールマネー等の純増減(△)	△ 92,700	16,500	△ 100,700
その他	△ 176	△ 19,966	△ 1,653
小 計	150,954	271,351	230,312
利息及び配当金等の受取額	36,972	46,951	52,737
利息の支払額	△ 5,048	△ 6,537	△ 7,105
契約者配当金の支払額	△ 345	△ 480	△ 1,048
法人税等の支払額	△ 15,309	△ 19,233	△ 16,724
営業活動によるキャッシュ・フロー	167,223	292,052	258,171
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
金銭の信託の増加による支出	△ 91,801	△ 99,666	△ 127,015
金銭の信託の減少による収入	41,700	-	61,700
有価証券の取得による支出	△ 477,704	△ 919,897	△ 659,994
有価証券の売却・償還による収入	490,466	660,961	661,927
貸付による支出	△ 33,403	△ 31,766	△ 49,602
貸付金の回収による収入	26,406	23,691	40,002
その他	-	△ 3,525	△ 500
II①小計	△ 44,336	△ 370,202	△ 73,482
(I + II①)	(122,887)	(△ 78,150)	(184,689)
有形固定資産の取得による支出	△ 14,415	△ 4,646	△ 10,148
有形固定資産の売却による収入	-	0	1
無形固定資産の取得による支出	△ 2,777	△ 5,225	△ 3,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 61,529	△ 380,073	△ 87,215
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
株式の発行による収入	-	28,800	-
配当金の支払額	△ 6,500	△ 6,500	△ 6,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,500	22,300	△ 6,500
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	48	△ 22	41
V 現金及び現金同等物の増加額(減少額)	99,243	△ 65,744	164,496
VI 現金及び現金同等物期首残高	109,263	273,760	109,263
VII 現金及び現金同等物四半期(当期)末残高	208,506	208,016	273,760

(注) 1. 投資活動によるキャッシュ・フローには、保険事業に係る貸付業務から生じるキャッシュ・フローを含んでおります。
2. 上記連結キャッシュ・フロー計算書は、保険業法施行規則第210条の10の規定に基づく様式に準じて記載しております。

(5) セグメント情報

平成19年3月期第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	生命保険事業	損害保険事業	銀行事業	計	消去又は 全社	連結
経常収益						
(1) 外部顧客に対する経常収益	498,369	38,227	14,402	550,999	—	550,999
(2) セグメント間の内部経常収益	746	27	17	791	(791)	—
計	499,116	38,254	14,419	551,790	(791)	550,999
経常費用	475,572	36,438	13,565	525,576	(840)	524,736
経常利益	23,543	1,816	854	26,214	48	26,263

平成20年3月期第3四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	生命保険事業	損害保険事業	銀行事業	計	消去又は 全社	連結
経常収益						
(1) 外部顧客に対する経常収益	546,457	41,646	18,088	606,192	—	606,192
(2) セグメント間の内部経常収益	666	21	35	722	(722)	—
計	547,123	41,668	18,123	606,915	(722)	606,192
経常費用	514,357	38,639	16,261	569,259	(870)	568,389
経常利益	32,765	3,028	1,861	37,656	147	37,803

平成19年3月期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	生命保険事業	損害保険事業	銀行事業	計	消去又は 全社	連結
経常収益						
(1) 外部顧客に対する経常収益	688,854	50,988	19,437	759,280	—	759,280
(2) セグメント間の内部経常収益	1,017	32	33	1,081	(1,081)	—
計	689,871	51,020	19,470	760,362	(1,081)	759,280
経常費用	674,983	48,975	18,116	742,075	(1,149)	740,926
経常利益	14,888	2,044	1,354	18,286	67	18,354

当社の連結業績(*)は、日本の会計処理の原則ならびにその手続および表示方法(以下「会計原則」)に準拠して作成しており、その会計原則は、当社の親会社であるソニー株式会社が開示する連結業績の準拠する米国の会計原則とは異なります。

*当社の平成 19 年 3 月期 第 3 四半期の連結業績の範囲には、ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社、ソニー生命保険株式会社、ソニー損害保険株式会社、ソニー銀行株式会社および Sony Life Insurance (Philippines) Corporation が含まれており、平成 20 年 3 月期 第 3 四半期の連結業績には、その範囲に新たにソニーバンク証券株式会社が含まれております。

また、ソニー株式会社は平成 20 年 1 月 31 日に 2007 (平成 19) 年度第 3 四半期連結業績を発表しました。当社グループはソニーグループの金融分野における主要な部分を構成しておりますが、当社の連結範囲と、ソニー株式会社がソニーグループの金融分野として位置づける範囲は同一ではありません。なお、ソニーグループの金融分野として位置づけられる範囲については、ソニー株式会社が発表した 2007 (平成 19) 年度第 3 四半期連結業績のお知らせをご覧ください。

注意事項

1. 将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭又は書面による見直し情報は、広く一般に開示される他の媒体にもたびたび含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。当社はそのような見直しの義務を負いません。
2. この文書は、ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社の業績見直しを一般に公表するための記者発表文であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません

以 上